



取付説明書

バックアイカメラ BEC105

バックアイカメラ (RCA接続タイプ)

BEC105G

取付説明書：090003-28460700

取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお願いします。「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。販売店様へ
取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機取り付けのために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

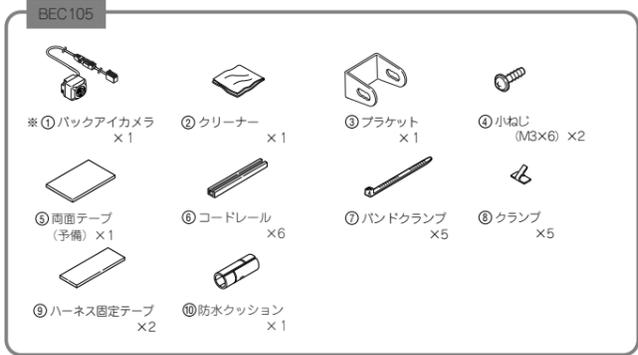
アドバイス 本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと
知っておくと便利なこと、知っておいていただきたいこと



構成部品

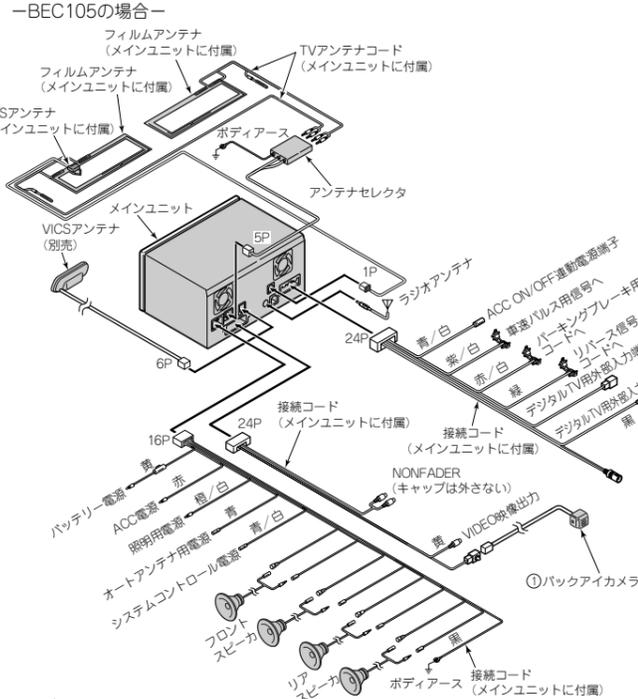
作業前に構成部品が揃っているが確認してください。

*バックアイカメラコードは、取付作業性を考慮し、3Pコネクタ (オス-メス) でジョイントされています。



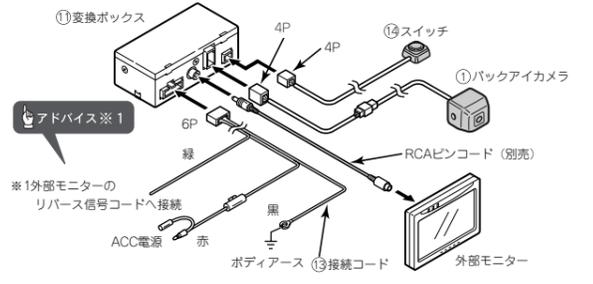
システム接続例

- 警告** ●電源コードの破損を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。



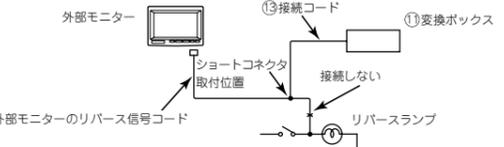
- アドバイス** ●メインユニットに接続する前に各ユニットの取付及び配線を行ってください。
- 機種によりメインユニットの背面端子が異なります。必ず接続するメインユニットの取付説明書を参照してください。

—BEC105Gの場合—



- 警告** 外部モニターと本機を組み合わせる場合は、外部接続機器メーカーが指示している警告・注意事項等を厳守してください。正常に動作しなかったり、事故の原因となります。

- アドバイス** 外部モニターにリパース信号がある場合 (ナビゲーション機能付きモニターを除く) : 付属のショートコネクタを使用して、他社モニターのリパース信号コードに接続してください。その際、リパース信号コードは車両のリパース信号には接続しないでください。



- 外部モニターにリパース信号がない場合またはナビゲーション機能付きモニターの場合 : 接続しません。コードの先端にテープを巻いて絶縁処理をしてください。

カメラ取り付け後の注意事項

—使用方法について—

- バックアイカメラを過熱しないでください。
- バックアイカメラは、障害物の確認のための補助手段として使用してください。
- 雨滴などがレンズ部に付着すると、映りが悪くなる恐れがあります。
- 自車状況 (乗車人数・積載量) により、画面に映し出される位置が変化します。必ず後方及び周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 映し出される画面だけを見ながら後退することは絶対しないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

—取扱いについて—

- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。バックアイカメラの故障や破損の原因となります。
- カメラレンズへの塵埃やドライヤー、熱湯での急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因になります。
- 太陽光を直接長時間撮影しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 車両後方画像を表示させた瞬間は、一旦白画面 (接続する機種により異なります) になりますが、その後次第に安定します。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき (フリッカー現象) が起こりますが故障ではありません。
- バックアイカメラ本体及びレンズ部分、プラケット、カメラコードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因となります。
- 磨き砂等が配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因となります。
- レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。乾いた布で強くこするとキズの原因になります。
- カメラコードにキズをつけないでください。キズ部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ故障や火災、感電の原因になります。
- バックアイカメラを取り付けた状態で洗車する場合は、車室内への水の侵入を防ぐ為に配線部への直接放水は避けてください。
- バックアイカメラ本体に自動洗車機や高圧洗浄機などの高い圧力の水をかけないでください。カメラが落下したり、防水が不完全となり内部に水が侵入して故障や火災、感電の原因となります。
- カメラやプラケットなどは、定期的に点検してください。取り付けネジの緩みや貼り付けた部分が割れていることを確認してください。取り付けネジの緩みがある場合は、増し締めをしてください。カメラが外れて落下し、歩行者等に接触したり、事故の原因となる場合があります。
- 太陽光を直接映したり、強い光 (太陽光のバンパーからの反射やヘッドライト等) が入射した場合、光源の上下に光の縦線 (スミア) が現れることがありますが、故障ではありません。

バックアイカメラの取り付け

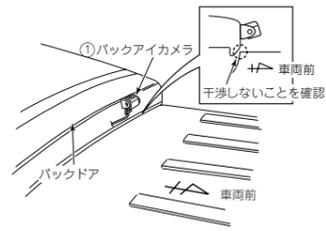
取り付け上のご注意

- 警告** ●コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- バックアイカメラのプラケットは、取付面が全面接着するように貼り付けてください。接着面積が少ないと走行中ではがれる危険性があります。
- バックアイカメラ及びカメラコードが、バックドア開閉時に車両と干渉しないように取り付けてください。
- 視界や運転の妨げになる場所へは取り付けしないでください。交通事故の原因になります。

- アドバイス** 一取り付けの前 ●湿気が多い時は、室外での取り付けはしないでください。(粘着力が弱くなり、走行中にはがれる危険性があります。)
- 必ず組み合わせるメインユニット側の取付説明書もよくお確かめの上、取り付けてください。

- 一取り付け作業時 ●走行してもさしつかえありませんが、24時間は絶対に水をかけたり、雨にあたり、引っ張る等無理な力を加えないで自然放置してください。
- 気温が低い (20℃以下) と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。
- バックアイカメラ本体やレンズ部分には、ドライヤー等を使用しないでください。

- アドバイス** ●バックドア開閉時にバックアイカメラ及びコードが車両と干渉しないようにあらかじめ取付位置を確認してください。
- 両面テープのハクリ紙は、はがさないでください。



1 バックアイカメラの取付位置を決める。

- アドバイス** バックアイカメラの取付位置を決める際、以下の事項に注意してください。
- バックアイカメラをテープ等で仮止めし、角度を調節して、車両後端が確認できる位置に取り付けてください。一度取り付くと両面テープの接着力が弱くなります。
- バックアイカメラは、ハイマウントランプなどの光がカメラレンズに入らない位置に取り付けてください。

—リヤスポイラー吊り下げ取り付け (例) —

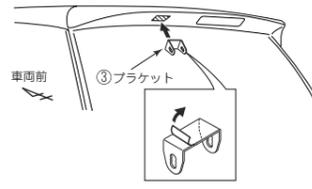


—バックドア垂直取り付け (例) —



ーリヤスポイラーに吊り下げて取り付ける場合(例)ー

- 2 ブラケットを貼り付ける部分の汚れ、水分、油分等を付属のクリーナ(布)できれいにふき取る。
- 3 ブラケットの両面テープのハクリ紙をはがし、リヤスポイラーの平らな面へ取り付ける。

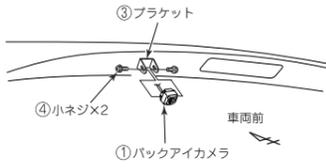


アドバイス

- 貼り付けた後は、確実に密着するようブラケットを十分押し付けてください。
- 気温が低い(20℃以下)と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。
- バックアイカメラ本体やレンズ部分には、ドライヤー等を使用しないでください。

ーリヤスポイラーに吊り下げて取り付ける場合(例)ー

- 4 バックアイカメラをブラケットに取り付ける。

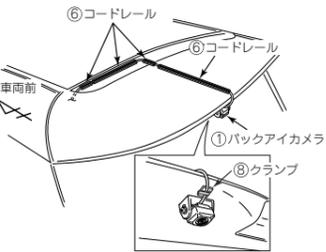


アドバイス

[ECLIPSE] 印刷面が上になるように取り付けてください。

ーリヤスポイラーに吊り下げて取り付ける場合(例)ー

- 5 バックアイカメラコードをコードレール及びクランプで固定しながらバックドア内側まで引き込む。



アドバイス

- コードレールは、適当な長さに切って使用してください。

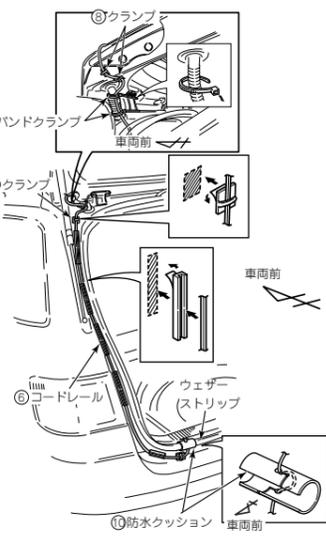
- 10 バックアイカメラコードをコードレール、バンドクランプ及びびクランプで固定しながら配線する。

アドバイス

コードレールは、適当な長さに切って使用してください。

注意

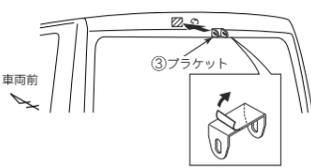
- バックドアを開閉したとき、バックアイカメラコードが引っ張られたり、クランプおよびバンドクランプが外れないことを確認してください。
- 雨水等の侵入を防ぐためトランク部分のコード引き直しには十分注意してください。



- 11 バックアイカメラコードを防水クッションのスリット部に挿入する。
- 12 防水クッションをウェザーストリップに巻き付けるように取り付ける。

ーバックドア垂直面に取り付ける場合(例)ー

- 6 ブラケットを貼り付ける部分の汚れ、水分、油分等を付属のクリーナ(布)できれいにふき取る。
- 7 ブラケットの両面テープのハクリ紙をはがし、バックドア垂直面の平らな面へ取り付ける。

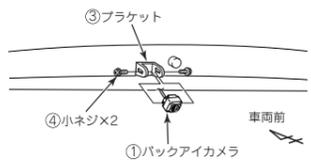


アドバイス

- 貼り付けた後は、確実に密着するようブラケットを十分押し付けてください。
- 気温が低い(20℃以下)と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。

ーバックドア垂直面に取り付ける場合(例)ー

- 8 バックアイカメラをブラケットに取り付ける。

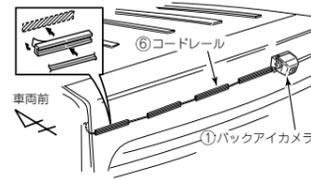


アドバイス

[ECLIPSE] 印刷面が上になるように取り付けてください。

ーバックドア垂直面に取り付ける場合(例)ー

- 9 バックアイカメラコードをコードレールで固定しながらバックドア内側まで引き込む。



アドバイス

コードレールは、適当な長さに切って使用してください。

- 13 バックアイカメラコードをハーネス固定テープで固定しながら配線する。
- 14 バックアイカメラコードを引き込むためにラゲージフィニッシュプレートをカットする。

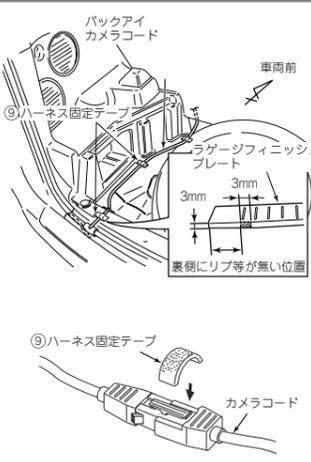
アドバイス

ラゲージフィニッシュプレート切り欠き位置裏側にリブ等が無いことを確認してください。

注意

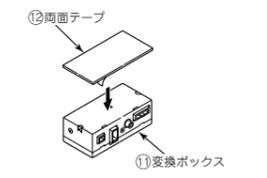
雨水等の侵入を防ぐためトランク部分のコード引き直しには十分注意してください。

- 15 バックアイカメラコードをメインユニット取付位置まで配線する。
- 16 異音防止のためバックアイカメラコードのジョイント部(コネクタ部)にハーネス固定テープを巻き付ける。



変換ボックスおよびスイッチの取り付け (BEC105Gのみ)

- 1 変換ボックス裏面に両面テープを貼り付ける。

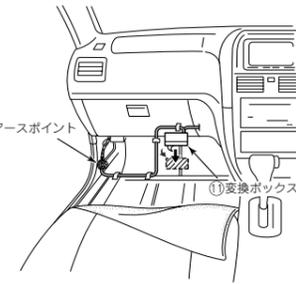


- 2 変換ボックスを助手席足元のカーペット下のフロア部分に取り付ける。

アドバイス

貼り付ける前に貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分にふき取ってください。

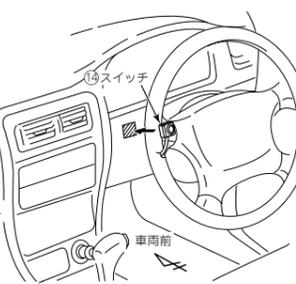
- 3 変換ボックスのアースコードをボディアースのとれる金属部分へ取り付ける。



- 4 スイッチをクラスターパネルの右横等、操作性の良い位置に取り付ける。

注意

運転操作の妨げになるような場所には取り付けしないでください。

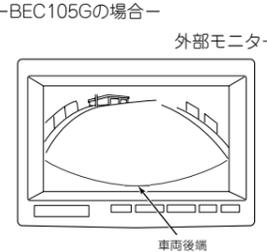
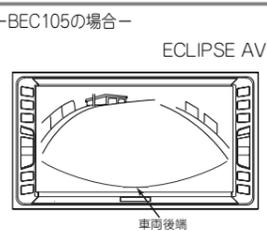


カメラ角度調整について

注意

バックアイカメラを映し出す際は、車が動かないようサイドブレーキを引き、輪止めを必ず行ってください。思わぬ事故の原因となります。

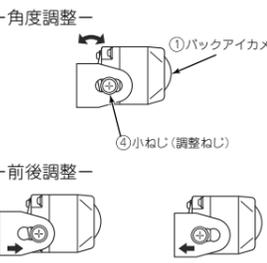
- 1 バックアイカメラコードをメインユニットに接続後、バッテリーにケーブルを接続する。
- 2 シフトをRレンジにし、車両後方映像を表示させる。
- 3 車両後端部(リアガラス、リアドア、リアバンパー等)が図のようにメインユニットまたは外部モニターの画面下に表示されるよう調整ねじを緩め、カメラの角度を調整する。



- 4 角度調整後、調整ねじをしっかりと締め付ける。この際、ブラケットの調整ねじの位置はブラケット長穴のどちらかの端になる位置で固定してください。

アドバイス

- バックアイカメラの角度調整の際、コードが突っ張らないように注意してください。
- 調整ねじは時々点検し、緩みがある場合は増し締めをしてください。



- 5 スイッチコードをクランプで固定しながら変換ボックス取付位置まで配線する。

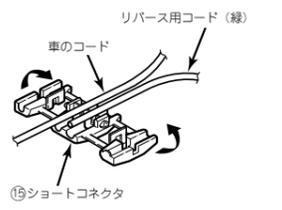
注意

コードを配線する際は、運転操作の妨げにならないように配線してください。

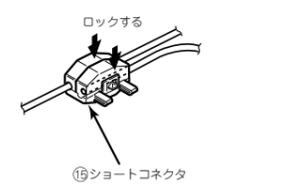


ショートコネクタ使用方法 (BEC105Gのみ)

- 1 リバース用コード(緑色)と車のコードをショートコネクタに挿入する。
- 2 ショートコネクタのターミナル(金属部)をブライヤー等で押し込む。



- 3 ショートコネクタのふたをかぶせブライヤやペンチ等でロックがかかるまではさみ込む。



バックアイカメラの映像について (BEC105Gのみ)

バックアイカメラの映像をモニターに表示させる要領は、以下の要領で表示させてください。

■ 変換ボックスのリバース端子と外部モニターのリバース端子を接続している場合

- 1 本機に付属のスイッチを押すとモニターにバックアイカメラの映像が表示されます。
- 2 再度スイッチを押すと画面が元に戻ります。

アドバイス

スイッチを押してバックモニター画面の状態でも5分後には自動的に元の画面に戻ります。

■ 変換ボックスのリバース端子と外部モニターのリバース端子を接続していない場合

- 1 スイッチを押します。
- 2 モニターをバックアイカメラを接続している映像モード(ビデオ等)に切り替えるとバックアイカメラの映像が表示されます。(組み合わせるモニターの説明書を参照してください)
- 3 再度スイッチを押すとバックアイカメラがOFFになります。
- 4 モニターの映像モードを元に戻します。(組み合わせるモニターの説明書を参照してください)

アドバイス

スイッチを押してバックモニター画面の状態でも5分後には自動的に元の画面に戻ります。